

掲 示 板

- I. 単位修得試験（2月試験）の実施について
- II. 教育実習講義（事後指導）の実施について
- III. 「教職実践演習（高）」の開講について
- IV. 教職関係証明書の発行時期について
- V. 平成28年度 単位修得試験日程について
- VI. 平成28年度 スクーリング単位修得再試験について
- VII. 平成28年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- VIII. 学費の分納（後期生）について
- IX. 事務休日等について
- X. 卒業生だより
- XI. 行事予定（12月・1月）
- XII. 各種届出書類等
 - ① 変更届（1枚）
 - ② 証明願（1枚）
 - ③ 証明書発行申込書（1枚）
 - ④ 学校学生生徒旅客運賃割引証申込書・発行控（2枚）
 - ⑤ リポート用紙購入申込書（2枚）
 - ⑥ 質問用紙（1枚）
 - ⑦ 追加履修届（1枚）
 - ⑧ 「履修カルテ」配付申込書（1枚）

注意事項

1. 事務取扱時間
 - 月～土曜日 9：00～17：00
 - 日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて事務の取扱いを行います。）
2. 電子メールの宛先
 - csoffice@ogu.ac.jp
 - 電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号と氏名を明記してください。
3. ホームページによるシラバスの閲覧について
 - 各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。
 - なお、ホームページを閲覧できる環境のない方は、通信教育部事務室にお問い合わせください。
 - ホームページアドレス
 - <http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

掲 示 板

I. 単位修得試験（2月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は所定の手続きのうえ受験してください。

1. 試験日時

平成29年2月5日(日)10:00～16:00 (本学・学外試験場)

2. 場 所

(1) 本 学

(2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、
広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場

3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名
1	10:00	0100	哲学概論	1202	経営管理論Ⅱ	1658	民法Ⅱ
		0107	倫理学概論	1437	基本経済学Ⅱ	8002	医療経営情報論
	11:40	0126	地域地理学	1013	国際マーケティング論	5029	教育原理Ⅰ
		0203	現代憲法A	1061	国際会計論	5030	教育原理Ⅱ
		0204	現代憲法B	1407	金融経済論	5013	同和教育
		0319	心理学概論	1439	財政学	5060	教師論
		1056	原価計算論Ⅱ	1625	税法		
2	12:20	0200	経済学概論	1005	流通政策Ⅱ	1667	商法Ⅰ
		0202	法学概論	1058	会計監査論Ⅱ	8001	医学一般
	14:00	0314	地球の科学	1059	税務会計論Ⅱ	5001	教育心理学
		0317	統計学概論	1009	商業数学	5010	特別活動
		0409	生涯スポーツ論	1203	経営統計学	5061	商業科教育法Ⅰ
		1000	商業学Ⅱ	1206	経営財務論	5062	商業科教育法Ⅱ
		1004	国際貿易論Ⅱ	1657	民法Ⅰ		
3	14:20	0109	歴史	1055	財務諸表論Ⅱ	8003	病院経営会計
		0115	文学概論	1200	経営学Ⅱ	8004	福祉経営情報論
	16:00	0215	現代文化論	1010	外国為替論	8005	医療福祉経営論
		0216	政治学概論	1205	生産管理論	5002	教育方法学
		0304	生命の科学	1210	経営組織論	5011	生徒指導の研究
		0325	現代物理学	1212	経営学史	5015	職業指導
		0408	健康と運動	1668	商法Ⅱ	5071	進路指導概論
		1003	マーケティング論Ⅱ				

(注) 1. 各講時（100分）において2科目まで受験できます。

2. 1科目の試験時間は50分間です。

3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。

4. ●印の科目は教科書が変更されました。平成27年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

掲 示 板

4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部 HP (<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)より、『開講科目一覧』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、受験する科目の「講義要項 (Syllabus)」を選べば、問題が確認できます。

5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(2月試験)」を参照してください。

6. 受験資格

次の1～3を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること
- (2) 受験する科目を履修登録していること
- (3) 2単位科目は、レポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。

7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書 (本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒 (宛名明記・82円切手貼付)

8. レポート提出締切日

平成29年1月6日(金)必着

9. 受験申込受付期間

平成29年1月16日(月)～1月20日(金) [必着]

掲 示 板

単位修得試験問題範囲番号表（2月試験）

試験日：平成29年2月5日(日)

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学概論	2:4:6	商業学Ⅱ	4:5:9	商業数学	6:11:17:20:29
倫理学概論	11:12:13	マーケティング論Ⅱ	5:14:15	外国為替論	14:15:16:17:18
歴史	7:13:14	㊦マーケティング論Ⅱ	12:13:15	国際マーケティング論	10:11:12:19:20
㊦歴史	7:11:12	国際貿易論Ⅱ	10:11:12	国際会計論	2:13:16:28:30
文学概論	2:6:13	流通政策Ⅱ	8:9:10	経営統計学	2:6:13:16:25
地域地理学	10:11:15	財務諸表論Ⅱ	2:6:10	生産管理論	1:2:5:11:21
経済学概論	8:9:10	原価計算論Ⅱ	12:13:15	経営財務論	17:22:25:27:30
法学概論	10:11:12	会計監査論Ⅱ	4:10:12	経営組織論	21:22:23:24:25
㊦法学概論	12:14:15	税務会計論Ⅱ	13:14:15	㊦経営組織論	1:2:4:5:13
現代憲法A	9:11:14	経営学Ⅱ	10:11:12	経営学史	4:9:16:17:28
現代憲法B	7:8:9	経営管理論Ⅱ	5:10:15	金融経済論	24:25:26:27:30
現代文化論	12:13:14	基本経済学Ⅱ	10:11:12	財政学	25:26:27:28:29
政治学概論	13:14:15	医学一般	10:11:12	税法	23:24:25:26:27
生命の科学	3:9:14	医療経営情報論	4:5:15	民法Ⅰ	13:14:16:25:28
地球の科学	1:7:13	病院経営会計	4:12:14	民法Ⅱ	5:15:27:29:30
統計学概論	2:8:12	福祉経営情報論	4:8:14	商法Ⅰ	21:22:23:24:25
心理学概論	5:13:15			商法Ⅱ	21:22:23:24:25
現代物理学	4:8:15			医療福祉経営論	6:13:15:22:30
健康と運動	2:6:15				
生涯スポーツ論	3:4:12				

教職課程科目〔新課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	12:14:15	特別活動	10:11:12	職業指導	2:9:11:24:30
教育原理Ⅰ	13:14:15	教育方法学	13:14:15		
教育心理学	4:7:15	生徒指導の研究	1:11:15		
教育原理Ⅱ	12:13:14	進路指導概論	8:11:15		
商業科教育法Ⅰ	13:14:15	同和教育	11:13:14		
商業科教育法Ⅱ	13:14:15				

注. 試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「㊦」のある場合は「シラバス2015」で確認してください。

各科目範囲番号より1題が出題されます。

※通信教育部ホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、通信教育部事務室までお問い合わせください。

掲 示 板

Ⅱ. 教育実習講義（事後指導）の実施について

教育実習終了後、教育実習の事例発表と反省に関して指導を行うことを目的として実施します。単位修得の要件ですので、本年度、後期に教育実習を行った人は、必ず受講してください。

1. 開講日時

開講日	講時	時間帯
2月11日(土・祝)	②	10:40～12:10
	③	12:50～14:20
	④	14:30～16:00
2月12日(日)	①	9:00～10:30
	②	10:40～12:10
	③	12:50～14:20

2. 実施場所

本学（教室については当日、通信教育部事務室前に掲示）

3. 受講資格

「教育実習日誌」の提出が必要です。受講申込までに提出してください。

4. 手続書類

便箋等に「教育実習講義（事後指導）受講希望」の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記、82円切手貼付）を同封して通信教育部事務室まで受講申込書等の関係書類を請求するか、あるいは通信教育部公式ホームページよりダウンロードしてください。

5. 受講申込締切日

平成29年1月26日(木)：「受講申込書」はこれ以前に請求してください。

掲 示 板

Ⅲ. 「教職実践演習（高）」の開講について

「教職実践演習（高）」を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続を行ってください。

1. 開講期間

平成29年2月15日(水)～平成29年2月20日(月)【最終日2月20日(月)は
予備日】

2. 講義時間と担当者

開講日	曜日	講 時	担当者
平成29年2月15日	水	1 9:00～10:30	井上 専
		2 10:40～12:10	井上 専
		3 12:50～14:20	安田 一之
平成29年2月16日	木	1 9:00～10:30	安田 一之
		2 10:40～12:10	安田 一之
		3 12:50～14:20	安田 一之
平成29年2月17日	金	1 9:00～10:30	三輪 信哉
		2 10:40～12:10	谷口 高士
		3 12:50～14:20	谷口 高士
平成29年2月18日	土	1 9:00～10:30	三輪 信哉
		2 10:40～12:10	根無 喜一
		3 12:50～14:20	根無 喜一
平成29年2月19日	日	1 9:00～10:30	安田 一之
		2 10:40～12:10	安田 一之
		3 12:50～14:20	井上 専

3. 受講申込手続

便箋等に「教職実践演習（高）」の受講希望の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記・82円切手貼付）を同封して通信教育部まで「受講申込書」を請求してください。

掲 示 板

「受講申込書」到着後、必要事項を記入し、「履修カルテ（完成済）」を同封の上、通信教育部まで返送し受講申込手続を完了してください。

なお、「教職実践演習（高）受講申込書」は、ホームページからもダウンロードできます。

また、「履修カルテ（完成済）」が同封されていない受講申込は、受理できませんので注意してください。

4. 受講申込締切日

平成29年 1 月26日(木) 必着

掲 示 板

Ⅳ. 教職関係証明書の発行時期について

平成28年10月から平成29年3月までに単位修得した授業科目の成績認定は、平成29年3月18日付となります。

よって、平成29年2月5日の本年度最終単位修得試験における合格科目もこの日付で単位認定を行うこととなります。

学力に関する証明書（成績証明書を含む）が必要な方は平成29年2月20日以降に発行申込手続を行ってください。なお、平成29年3月18日前後に申込みされますと発行が遅れる場合があります。

Ⅴ. 平成28年度 単位修得試験日程について

平成28年度の今後の単位修得試験日程は下表のとおりです。テキスト学習（通信授業）の単位修得試験は年計4回行われます。

試験日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H29.2.5(日)	H29.1.6(金)	H29.1.16(月)～H29.1.20(金)

Ⅵ. 平成28年度 スクーリング単位修得再試験について

平成28年度のスクーリング単位修得再試験の日程は下表のとおりです。

試験日	受験申込期間	備考
H29.1.22(日)	H29.1.10(火)～H29.1.13(金)	秋期・冬期スクーリング対象

(注) 1月22日(日)実施の秋期・冬期スクーリング単位修得試験(再試験)は、平成28年度秋期・冬期スクーリング参加者で授業最終時に行った単位修得試験が不合格の者のみを対象に行う。

※各スクーリング授業最終時の単位修得試験は、各科目6日間、15講時授業の3分の2以上出席した場合に受験できますので、注意してください。

掲 示 板

Ⅶ. 平成28年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について

本学通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常（第1種）の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の場合上、リポート到着が遅れる場合も多々あります。

その点を考慮した上でリポートを提出してください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務室返送予定日	リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務室返送予定日
H28.12.5(月) (H28.11.15~12.5)	H28.12.12(月)	H29.2.13(月) (H29.1.24~2.13)	H29.2.21(火)
H29.1.6(金) (H28.12.6~H29.1.6)	H29.1.13(金)	H29.3.6(月) (H29.2.14~3.6)	H29.3.13(月)
H29.1.23(月) (H29.1.7~1.23)	H29.1.30(月)	H29.3.27(月) (H29.3.7~3.27)	H29.4.3(月)

※事務室が閉室あるいは職員が不在の時に、リポートをカウンターの上や事務室前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じても、当方では一切責任を負えません。

Ⅷ. 学費の分納（後期生）について

後期生（10月入学）で平成28年度の学費分納者は、2回目の納付期限が平成29年1月31日(火)までとなっていますので、納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。

掲 示 板

Ⅷ. 事務休日等について

年末・年始等の事務休日は次のとおりです。事務取扱いを行いませんので、注意してください。

1. 平成28年12月29日(木)から平成29年1月5日(木)まで
2. 平成29年1月14日(土) [大学入試センター試験実施のため]



キャンパス内全面禁煙

掲 示 板

X. 卒業生だより

平成28年9月24日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上でのご参考にしてください。

「卒業に際しての所感、これから通信教育部で学習される方へ」

松井 美章

私は大学卒業資格を目的に1年次から入学し、今秋、無事に卒業を迎えることができました。入学してから暫くはレポートの書き方がよくわからず、スクーリングのみ出席していました。そのため、一年間で提出したレポートは一通だけで、次の年もレポートにはほとんど手を付けないまま時間が過ぎ去り、3年間で修得した単位はスクーリングで修得した40単位ほどでした。全く卒業が見えないまま、さすがにこのままではいけないと改心し、卒業へ向け本腰を入れてレポートを書くことにしました。

そこで、レポートを書く前にまず、一年間で4回行われる試験でいつどの科目を受けるか大まかな予定を立てました。なぜなら、試験のためのレポート提出期限の間隔は大体2～3ヵ月で、闇雲にレポートを提出していると、6科目試験が受けられないためです。これによって、2週間に1通決まった科目のレポートを提出するという学習計画が立てることができたので、学習計画に沿ってレポートを書き上げていきました。私にとってこの学習計画は非常に無謀で苦しいものでした。もちろん、自業自得なのですが。

このようにならないために、勉学を続ける方々に伝えたいのがスクーリングの重要性です。スクーリングは、先生方に直接講義を受けるものですが、私はそれと同等に他の在學生との交流が重要だと感じました。なぜなら、レポートの書き方や学習方法といった悩みは自分だけでなくほとんどの方が共通して持っている悩みで、これらの情報を交換・共有することでより効率的に学習することができるからです。これは、レポートをメインとする通信教育では非常に重要な事だと思います。なので、できるだけスクーリングには参加し、一人でも多くの方と交流を持つことをお勧めします。

皆さん目標を持って入学されたと思いますので、自分に厳しく卒業を目指して頑張ってください。私は最後の試験も6科目受験とギリギリでしたが、このような私の無計画性を反面教師として、きちんとした計画を立てて学習することをお勧めします。

最後に、私が卒業することができたのも、指導してくださった先生方や事務室の職員の方々、それとスクーリングで出会った人達のお蔭であり、心から感謝しています。長い間本当にありがとうございました。

掲 示 板

原田葉寿希

私が本学に入学した理由は、商業の教員免許状を取得する目的で、1年次からの入学でした。入学したてのときは、レポートの書き方が全然分かりませんでした。しかし、数をこなしていくうちにコツがつかめてきました。私は、指定テキストのレポート課題になっている部分を読んで、重要だと思うところにアンダーラインを引き、それをワードに打ち込み、その後修正や自分の意見を加えて仕上げていきました。どうしても解決できない部分があった場合は、担当の先生に納得できるまでメールで質問しました。どの先生も丁寧に答えてくださり、先生方には大変お世話になりました。私は最短の4年で卒業し教員免許状も取得すると心に決めて入学しました。しかし、仕事との両立が難しく教員免許状の取得を諦めた方に「4年で大学卒業資格と教員免許状を取得した人は少ない」と言われ、とても不安になりましたが「自分は絶対に4年でやり遂げてみせる！」という強い意志をもってやってきました。今思い返すと4年間で本当にあつという間でした。そして目標が達成できた分、達成感が強く、自信にもつながりました。

また、スクーリングや教職課程の授業を通じて、同じ夢を持つ同志や、卒業してからも仲良くしたいと思える友達にも出会えました。通信で学んでいる人は、いろいろな社会経験をされた方が多く、いつも刺激をもらえて、そんな人たちに出会えたからこそ、私自身のモチベーションも維持することができたのだと思います。忙しい4年間でしたが、その分得るものも多く、本学に入学して本当によかったと思います。

卒業することで教員免許状は取得できますが、教員になるためには採用試験を突破しなければなりません。現在採用試験に挑戦しているところですが、本学で4年間頑張ってきたことを無駄にしないよう、最後まで諦めずに挑戦していきたいと思います。

通信で勉強を進めていくことは簡単なことではありません。計画を立てて勉強していくことが大事だと思います。しかし、大変な分達成感も大きく、そして何より普通に過ごしていたら出会えなかった人たちと出会うことができます。勉強はもちろん大事ですが、そんな貴重な出会いを本当に大切にしたいと思います。これから自分自身の夢や目標に向けて一生懸命頑張ってください。

板野 晋也

私は2012年10月に大阪学院大学の通信教育部へ1年次入学しました。通信教育を始めたきっかけは、4年制大学卒業資格を取得するためでした。

通信制での大学の勉強は、思っていた以上にとっても大変で、入学当初はどう勉強を進めていけば良いか全然わかりませんでした。しかし、学習をすす

掲 示 板

めていくうちに自分の勉強のペースをつかむことができました。

リポートを作成するのに、なかなか上手にまとめられなくて、大変苦労しました。何度も不合格になり書き直しました。

教科書を何回も繰り返し熟読し、参考文献で紹介をされている書籍を図書館で借りてくるなどして、課題に取り組み理解を深めることで、なんとかリポートを組み立てることができました。先生から指摘を受け、再提出し、合格の文字を見て更にありがたい言葉や助言を頂けると、とても励みになり、次も頑張ろうという気持ちになりました。

スクーリングは私にとって価値のある貴重な経験となりました。初めてスクーリングを受講したとき、とても不安になり緊張もしました。一人でリポート作成するのは正直限界があり、先生の講義を聴くことで納得、理解できました。

また、実際に大学へ出向いてみて受講されている方々の年齢層の幅広さに非常に驚きました。特に年輩の方が一生懸命に勉強されているのを目の当たりにして、何歳になっても目標に向けて頑張っている姿が大変刺激になり影響を受けました。

今回、この大阪学院大学の通信教育部での4年間のなかで、様々な分野の勉強をさせていただき、今までの自分より大きな視野と色々な角度から、これからの自分の進むべき道を考える力を身につけることができました。

これから学習される方へ、通信教育での学習で重要なことは、いかに気持ちを切らさずに継続していくかです。学習パターンを確立して、学習を生活の一部としていくことが効果的です。それでもよくわからないのであれば、スクーリングに行き、勉強をしながら情報収集してみてもいいでしょうか。仲間が増え、いろいろな情報交換もでき、わからないことがあれば教え合ったり、参考資料をもらったり送ったりして勉強を進めてきました。いつの間にか勉強が楽しくなり、理解出来るようになり、そして単位が取れる度に喜びが大きくなっていきました。

通信教育で学習されてる方は、各々事情が異なり、目的やペースも様々であると思いますが、自分のなかで決定した目標に対して決して諦めることなく、目標達成を現実のものにしてもらいたいと思います。そのためには、体調管理を含む自己管理が大切です。無理のない計画を立て、なるべくその通りに進めることが一番で、疑問点や不安なことは、早期に解決することも重要であると思います。入学から卒業までの4年間は長く思えますが、実はあっという間に過ぎます。

最後に、お世話になった先生方、事務職員の皆様、在学中に交流をさせて頂いた皆様、心から感謝、御礼申し上げます。

掲 示 板

畠 中 環

私は2013年4月に通信教育部に3年次編入学をしました。卒業まで3年半、予定より時間がかかってしまったと思っています。

夏期のスクーリングは平日に行われるため、都合が付きにくいこともあり、3年で卒業を考えて学び始めました。仕事の合間に、時間の都合が取れた時にと、レポートなどもゆっくりやればよいと1年目をほとんど無為に過ごしてしまったことが悔やまれます。決まった時間に何かを行うかなど考えていなかったため、単位修得までなかなか進みませんでした。このままではまずいと思い、2年目からはカレンダーにいつまでにこれを行うという計画を立てて、ひと月に最低1科目のレポート合格を目指しました。予定を立てれば、ちょっとしか時間が取れない時期でもなんとか時間を作り出さなければならぬと考えるようになり、勉強時間を取るようになりました。仕事優先で、テストを申し込んでもドタキャンなんてことをして、同じ科目を何度も受験したりもしました。

通信教育で学ぶには、いつまでに何をするのかということ年単位で決め、そのペースを保ちつつ続けていくことが一番大事だと思います。ずれ込んでも予定通りに進むように次の月や時間を取りやすい月に調整を行えば、なんとかなるものでした。後はできるだけ空白の日を作らないこと。1日30分でも続けて勉強したほうが、1日空くよりずっと頭に入ります。通信教育は、自分の学ぶ気持ちがあるからこそ続けられるのだと思います。皆さんも頑張ってください。

今 井 智 恵

私は大学院へ進学を考えており、短大卒のため学士の資格を取るために3年次編入で通信教育部へ入学しました。

資格を取るためとはいえ、通信教育部で得た知識は今後、大学院やその後の社会生活で活かそうです。

通信教育での単位修得は地道なものでした。細かな計画を立てコツコツとやってきました。スクーリングでは同じ目標をもった仲間と出会い、進捗状況を確認したり励まし合うことができました。

こうして無事2年で卒業できることをとても嬉しく思います。

レポート科目は自分の得意分野から始めることをお勧めします。勉強が進むにつれ自分のペースが掴めてきます。またレポートを書くことにも慣れてきます。

そして通信教育部で学習する上で大事なことは具体的な目標と綿密な計画を立て学習に挑むことです。私の家の勉強机の前には2年間の単位修得スケジュール表が貼ってあり、どの科目をいつまでに何単位修得すればいいのか、

掲 示 板

ひと目見てわかるようにしていました。細かなリポート提出日も書き込み、常にどこまで進んでいるのか確認できるようにしていました。

しかし、リポート課題には、何度読んでも理解できないものや、自分に向いていないものもあります。そのようなときは思い切って科目を変えることも必要です。あくまでもペースを崩さず進んでいくことが大事だと思います。

このように細かい計画を立てていても、スクーリングの申し込みを忘れるなど失敗したこともありました。途中、モチベーションが下がる時期もありました。でも強い意志を持って続けることが大切です。

これから通信教育部で勉強を始められる方は夢や目標を持って入学してこられたと思います。意志を強く持って、その夢に向かって頑張ってください。

濱中 勇亮

私は平成22年に通信教育部に入学しました。当時日中は老人保健施設で働き、夜間は関西西科専門学校で医療の勉強をするとともに、学士の取得を目指し、通信教育部での勉強を行っていました。

当初の目的は、医療分野で今後進む道の選択肢を広げるため、大学卒業資格を取得することでした。しかし、休日がないほど忙しい日々を送っており、学士取得は本当にできるのだろうか、不安になることが何度もありました。卒業するまでに長い時間を費やし、諦めそうになった時に、先生方や事務の方々の支えにより、通信教育を続けることができ、卒業を迎えることができたのだと思います。深く感謝いたします。

今後も、医療分野での追求を行いながら、様々な分野の知識を吸収し、広い見識をもてるように励んでいきたいと思っています。

私は、昼間の仕事と夜間の専門学校を並行して通信教育部での勉強を行っていました。今後の自分自身の可能性を広げるために、学士取得を決めました。最初は、先々のスケジュールを考え、早めに通信教育部の勉強を行っていました。しかし、昼間に仕事をし、夜間の専門学校での勉強と日々の忙しさにより、徐々に通信教育部の勉強が後回しになっていきました。専門学校の課題が多くなったことを言い訳にして、通信教育部の勉強を行うのを先延ばしにしてくようになり、勉強するという姿勢が失われていきました。

通信教育部での勉強は、時間に縛られず、自分で計画を立てて行うことができます。しかし、時間に縛られないからこそ、すぐに計画を変更できてしまうという欠点があります。その欠点を埋めることは、勉強する自分の意志でしかできないと思います。忙しさに追われることで、初心がぶれてしまうこともあるかもしれません。しかし、自分自身で通信教育部で勉強しようと決め、学士取得を目指したのであれば、大変だとは思いますが、初心を忘れず、通信教育部の勉強を最後まで頑張ってください。

掲 示 板

XI. 行事予定 (12月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 冬期スクーリング 開始①
4 冬期スクーリング ②	5	6	7	8	9	10 冬期スクーリング ③
11 冬期スクーリング ④	12	13	14	15	16	17 冬期スクーリング ⑤
18 冬期スクーリング 終了⑥	19	20	21	22	23 ^{天皇誕生日} 事務休日	24 冬期スクーリング 予備日
25 事務休日	26	27	28	29 事務休日	30 事務休日	31 事務休日

 掲 示 板

XI. 行事予定 (1月)

日	月	火	水	木	金	土
1 元旦 事務休日	2 振替休日 事務休日	3 事務休日	4 事務休日	5 事務休日	6 レポート提出締切日 (2月試験対象)	7
8 事務休日	9 成人の日 事務休日	10 秋・冬期スクーリング 単位修得再試験 受験申込受付開始 至1月3日	11	12	13	14 (大学入試センター) 試験のため 事務休日
15 事務休日	16 受験申込受付開始 (2月試験対象) 至1月20日	17	18	19	20	21
22 秋・冬期スクーリング 単位修得再試験 (本学・学外)	23	24	25	26	27 (通学課程入試のため) 事務休日	28 (通学課程入試のため) 事務休日
29 事務休日	30	31 後期生:学費分納者 2回目納付期限				